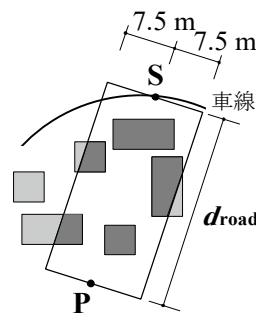
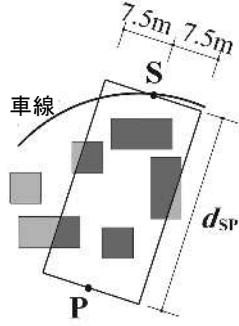


訂 正

本誌 70 巻 4 号「道路交通騒音の予測モデル“ASJ RTN-Model 2013”－日本音響学会道路交通騒音調査研究委員会報告－」において誤解を招く表現や分かりにくい箇所がありました。正しくは以下のとおりです。ここにお詫びし訂正いたします。

| 頁 | 誤 | 正 |
|--|--|--|
| p.204 の左段 式(6.8) | $\Delta L_{BB} = 10 \log_{10} \left\{ a_0 + a_1 \cdot \frac{\phi}{\Phi} \right.$ $+ a_2 \sum_i \left(\frac{\theta_i}{\Phi} \cdot \frac{d_{road}}{d_{ref,i}} \right)$ $+ a_3 \cdot \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \left(\frac{0.251}{1 + 0.522 \delta_k} \right)$ $\left. + a_4 \cdot 10^{-0.0904 \xi_{d_{road}}} \right\}$ | $\Delta L_{BB} = 10 \log_{10} \left\{ a_0 + a_1 \cdot \frac{\phi}{\Phi} \right.$ $+ a_2 \sum_i \left(\frac{\theta_i}{\Phi} \cdot \frac{d_{road}}{d_{ref,i}} \right)$ $+ a_3 \cdot \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n \left(\frac{0.251}{1 + 0.522 \delta_k} \right)$ $\left. + a_4 \cdot 10^{-0.0904 \xi_{d_{SP}}} \right\}$ |
| 式(6.8)の中カッコ内の最終項の d_{road} を d_{SP} に訂正。 | | |
| p.204 の図-6.5 | | |
| 図-6.5 に点 O を記入し, S を中心に描いている直線が接線であることが分かるように訂正。 | | |
| p.204 の図-6.6 | | |
| 図-6.6 に点 O を記入し, S を中心に描いている直線が接線であることが分かるように訂正。 | | |

| | | |
|--|---|---|
| p.204 の右段 上から5～6行 目 | d_{road} は S と P の水平距離 [m], $d_{ref,i}$ は S と P' 又は P'' の水平距離 [m]である。 | d_{road} は P から S への垂線の距離 (P から S における道路の接線への最短平面距離) [m], $d_{ref,i}$ は P' 又は P'' から S への垂線の距離 [m]である。 |
| d_{road} と $d_{ref,i}$ の説明を分かり易く訂正。 | | |
| p.205 の図-6.8 |  <p>図-6.8 幅 15 m, 長さ d の長方形内の建物密度 ξ, 音源と予測点の距離 d_{road}</p> |  <p>図-6.8 幅 15 m, 長さ d の長方形内の建物密度 ξ, 音源と予測点の水平距離 d_{SP}</p> |
| 図-6.8 の d_{road} を d_{SP} に訂正。併せて、図のキャプションも修正。 | | |
| p.205 の左段 上から9行目 | 式(6.8)の $10^{-0.0904\xi \cdot d_{road}}$ の項は, ... | 式(6.8)の $10^{-0.0904\xi \cdot d_{SP}}$ の項は, ... |
| d_{road} を d_{SP} に訂正。 | | |
| p.205 の左段 上から14行目 | ..., d_{road} は S と P の水平距離 [m]である。 | ..., d_{SP} は S と P の水平距離 [m]である。 |
| d_{road} を d_{SP} に訂正。 | | |
| p.205 の左段 注記の位置 | 「6.2.1 点音源モデルによる計算方法」の最後に記述されている。 | 本来は, 「6.2.2 線音源モデルによる計算方法」の最後に記述すべき (p.207 の左段の文献の前)。 |
| 注記の位置を訂正。 | | |